奥秩父

井戸沢・椹谷遡行

2009.6.20-21
メンバー菊地、他１名
6 月 20 日（晴れ）

車止めの荒沢橋までは土砂崩れ跡もあったが、修復されていて普通車でも入れる状態だった。釣り師と前後しながら、暫く林道を辿ると一部路肩が大きく崩れていた。

井戸沢出合付近の堰堤下から遡行する。先行者は居ないようだ。すぐにゴルジュ帯となり薄暗くなるが、釣り師のフィックスもあり通過困難な箇所は無い。だが保温性のウエアを着ていないので、水は冷たく感じ余り濡れたくない。

キンチチミの８m滝を巻き小滝が幾つか続くと穏やかなゴーロになり左から栂ノ沢が入り、たちまち椹谷も流入する。椹谷に入ると暫く平凡なゴーロ小滝が続き倒木も目立つ。飽きてきた頃ようやく見所のゴルジュ帯となる。滑り台状のナメ滝は登れそうにないので巻いたが、続く幅の狭いナメ滝はフリクションと突っ張り等で楽しく越える。

ゴルジュを抜けるとアザミ窪の出合で苔に覆われた樹林の穏やかな渓相になる。再びゴーロに３～８m滝が続くと、しぶきをあげる４０m大滝が現れた。時間は早いが今日はここまでの予定なので、幕営準備に取り掛かる。右岸高台には不自然なほど平で広い場所があり快適。だが余り人が入らない様で、人の痕跡は殆どなく流木も豊富だった。昼間から大滝を眺めつつ、焚き火の傍らでお酒を頂く。久しぶりに同行した友人との話も尽きずあっと言う間に辺りは闇に包まれた。

6 月 21 日（雨）

深夜から雨が降り出し、ツエルトのフライをしていなかったのでツエルト内も雨が降る。少し早めに起床し焚き火の準備にかかる。滝も水量が増え迫力を増していた。雨の中朝食を済ませ出発する。大滝は登れそうにも見えたが、岩がもろいので巻く事にした。最初右岸を小さく巻こうと思ったが悪いので、更に小尾根まで大きく巻き、沢に戻るまで 20

分程費やした。大滝上は再び平凡な渓相となり、時々ナメや小滝が現れるが沢を塞ぐような倒木も多い。１６２０m付近の二俣を右に入るとすっかり小沢となり、沢を塞ぐ倒木も目立つ。　つめは藪こぎも無く稜線に出れたが、相変わらず雨が降り風もあって寒い。また結局登りではザイルは使わなかった。

　下降点の狼平までは緩やかなアップダウンの続く稜線だが意外と長い。箱庭の様な狼平から狼谷へと下降する。滝らしい滝も無く、順調に高度を下げて行く。荒沢谷に入ると水量も多く、ゴルジュや立派な滝が幾つもあり遡行しても楽しそうだ。だが車止めから近いせいかごみが目立ち、ほぼ５m間隔で落ちていた。

地形図：雲取山、雁坂峠

コースタイム：

20 日 荒沢橋５：４５～椹谷１０：００・１０：０５～大滝下 12:30

21 日 大滝下７：００～１６２０m二俣７：４５・８：００～大タル８：３０・８：４５～狼平１０：４５・１１：０５～通らず上１２：３０・１２：５０～荒沢橋１４：５０